

(様式第 9)

徳大院総
平成23年1

四国厚生支局長

殿

徳島大学長 香川

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	78人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	213人	190人	359.7人	看護補助者	26人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	90人	65人	139.5人	理学療法士	9人	臨床検査技師	52人
薬剤師	40人	0人	40.人	作業療法士	6人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	37人	0人	37.人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	452人	43人	489.6人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	1人	4人	4.8人	栄養士	0人	その他の技術員	43人
歯科衛生士	8人	6人	12.6人	歯科技工士	6人	事務職員	121人
管理栄養士	10人	1人	10.8人	診療放射線技師	38人	その他の職員	3人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	541.8人	17.3人	559.1人
1日当たり平均外来患者数	1,260.6人	444.0人	1,704.5人
1日当たり平均調剤数	入院 425.1剤	外来 273.5剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	0人
CTガイド下気管支鏡検査	30人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	36人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
筋過緊張に対するマッスル・アフアレント・ブロック治療	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

該当なし

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	52人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	14人
・重症筋無力症	107人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・全身性エリテマトーデス	169人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	12人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・再生不良性貧血	28人	・混合性結合組織病	31人
・サルコイドーシス	88人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	45人	・特発性間質性肺炎	17人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	88人	・網膜色素変性症	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	9人	・肺動脈性肺高血圧症	2人
・潰瘍性大腸炎	107人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	21人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	2人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	22人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	55人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	51人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	191人	・球脊髄性筋委縮症	5人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	97人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	3人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	28人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	42人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・培養細胞による先天性代謝異常診断	・
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	・
・顔面骨・頭蓋骨の観血的移動術	・
・歯周組織再生誘導法	・
・子宮頸部前癌病変のHPV-DNA診断	・
・膀胱水圧拡張術	・
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	○1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	38回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 50 例 / 剖検率 21.60%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
気管支炎幹細胞を用いた胎仔肺細胞移植の試み	鳥羽 博明	呼吸器・膠原病内科	910,000	補委 文部科学省
バクテリアトランスロケーションの新たなメカニズムの解明	吉川 幸造	消化器・移植外科	2,080,000	補委 文部科学省
腎虚血再灌流障害に対するHIF-1 α の腎尿細管再生メカニズムの解明	山口 邦久	泌尿器科	1,690,000	補委 文部科学省
キャップ付閉鎖型側注ポート組込み型輸液システムのカテーテル感染の予防効果の検討	中瀧 恵実子	救急集中治療部	1,300,000	補委 文部科学省
悪性胸膜中皮腫の浸潤に注目した治療標的分子の網羅的探索研究	柿内 聡司	呼吸器・膠原病内科	2,080,000	補委 文部科学省
肺サーファクタント蛋白SP-Aの肺がん進展・転移における役割の解析	後東 久嗣	呼吸器・膠原病内科	2,470,000	補委 文部科学省
Wntシグナル制御による癌幹細胞および脳腫瘍増殖抑制作用の分子機構	溝淵 佳史	脳神経外科学	2,210,000	補委 文部科学省
骨格系の制御システムと脂肪・血管制御系との連関およびその異常に基づく病態の解明	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	14,950,000	補委 文部科学省
骨髄由来fibrocyteの遊走阻害:PDGFの役割と肺線維症治療への展開	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	4,550,000	補委 文部科学省
脂肪肝グラフト部分肝移植における機能不全の解明と統合的治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科	3,640,000	補委 文部科学省
延長仮骨の骨癒合促進法の開発	安井 夏生	整形外科	2,470,000	補委 文部科学省
ジストニアの分子病態と治療に関する総合的研究	梶 龍兒	神経内科	5,590,000	補委 文部科学省
臍帯血細胞移植による未熟肺血管床の発育に関する研究	北川 哲也	心臓血管外科	5,460,000	補委 文部科学省
脳動脈瘤増大・破裂における分子機構と薬物制御	永廣 信治	脳神経外科	8,060,000	補委 文部科学省
泌尿器癌における癌・間質細胞相互作用-Stromal Therapyをめざして	金山 博臣	泌尿器科	2,600,000	補委 文部科学省
動脈硬化プラーク脆弱化の分子機構の解明と急性冠症候群予測因子の同定	佐田 政隆	循環器内科	8,060,000	補委 文部科学省
同所移植ヒト悪性胸膜中皮腫モデルを用いた新規抗血管新生療法法の探索	曾根 三郎	呼吸器・膠原病内科	6,890,000	補委 文部科学省
RA系非依存的な糖尿病性腎症の発症予測バイオマーカーと分子標的治療法の開発	土井 俊夫	腎臓内科	14,170,000	補委 文部科学省
細胞接着因子のコーティングによる小口径脱細胞化グラフトの再細胞化に関する研究	神原 保	心臓血管外科	780,000	補委 文部科学省
小児の難治性糸球体腎炎におけるHic-5の役割解明	近藤 秀治	小児科	910,000	補委 文部科学省

小児の進行性腎疾患における活性酸素種(ROS)の役割解明とその治療応用	香美 祥二	小児科	910,000	補委	文部科学省
高磁場MRSと多チャンネルNIRSを用いた強迫性障害の薬物応答性予測に関する研究	住谷 さつき	精神科神経科	910,000	補委	文部科学省
骨髄単核球細胞移植による肺血管新生機序解明に関する研究	北市 隆	心臓血管外科	910,000	補委	文部科学省
豚を用いた胎仔肺移植の検討 一特に気管支鏡下経気道的投与の可能性を探る一	先山 正二	呼吸器外科	1,430,000	補委	文部科学省
多嚢胞性卵巣症候群の診断精度の向上に関する検討	苛原 稔	産科婦人科	1,300,000	補委	文部科学省
グレリンの自律神経作用を介した新しい不整脈治療法の開発	添木 武	循環器内科	1,430,000	補委	文部科学省
新規ポドサイト膜糖蛋白Tpbgの機能解析および新規腎炎治療の探索	松浦 元一	腎臓内科	910,000	補委	文部科学省
慢性腎臓病から腎不全に至る不可逆的形質変化の分子機構解明	安部 秀済	腎臓内科	1,170,000	補委	文部科学省
ヘパリンコファクターIIによる心リモデリングおよびインスリン抵抗性制御機構の解析	栗飯原 賢一	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委	文部科学省
認知機能障害とQOLに着目した統合失調症の臨床的および脳科学的研究	大森 哲郎	精神科神経科	1,690,000	補委	文部科学省
麻酔薬の心保護作用におけるミトコンドリアのカルシウム依存性カルシウムチャネルの役割	大下 修造	麻酔科	650,000	補委	文部科学省
ホルモン不応性前立腺癌におけるガラクトース結合レクチンの腫瘍制御機構の解明	福森 知治	泌尿器科	1,690,000	補委	文部科学省
新規脳内ペプチドによるゴナドトロピン分泌調節機構と各種ストレスによる影響の検討	松崎 利也	産科婦人科	1,300,000	補委	文部科学省
オリゴ糖の垂鉛吸収促進作用を利用した味覚障害の治療法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補委	文部科学省
K-ras遺伝子変異はGST- π を介して大腸発癌を促進する	高山 哲治	消化器内科	2,730,000	補委	文部科学省
表皮細胞のエピジェネティクス制御異常と免疫回避機構	久保 宜明	皮膚科	1,690,000	補委	文部科学省
皮膚有棘細胞癌における癌幹細胞の同定と解析	村尾 和俊	皮膚科	1,560,000	補委	文部科学省
長期予後改善を目的とした新たな新生児心臓手術手技の確立	黒部 裕嗣	心臓血管外科	1,170,000	補委	文部科学省
腫移行術後における骨格筋適応不全の病態解明	高橋 光彦	整形外科	3,120,000	補委	文部科学省
高血糖で吸入麻酔薬の心筋保護が抑制されることに対してスタチンが及ぼす影響	田中 克哉	麻酔科	2,080,000	補委	文部科学省
腫瘍抑制因子の糖尿病網膜症治療への応用	三田村 佳典	眼科学	2,210,000	補委	文部科学省
皮膚創傷治癒に及ぼす高脂血症と高血糖の影響	中西 秀樹	形成外科・美容外科	1,170,000	補委	文部科学省
骨格筋萎縮を予防する抗ユビキチン化オリゴペプチドの開発	安井 夏生	整形外科	1,500,000	補委	文部科学省

周囲脂肪組織を標的とした新規血管保護療法の開発	佐田 政隆	循環器内科	3,000,000	補委	文部科学省
脂肪由来幹細胞を用いた肝細胞癌の置換性発育の機序解明に関する研究	島田 光生	消化器・移植外科	1,600,000	補委	文部科学省
歯と顎の大きさに関する遺伝的要因の分析	阿部 洋子	小児歯科	650,000	補委	文部科学省
インプラント周囲炎における新規バイオマーカーの検討	長尾 大輔	第一補綴科	1,170,000	補委	文部科学省
モーフィング法を用いた補綴治療後の顔貌の三次元予測	岡島 雅代	第一補綴科	1,170,000	補委	文部科学省
CXC型ケモカインSDF-1を標的とした口腔癌に対する増殖転移抑制療法の開発	内田 大亮	口腔外科	1,430,000	補委	文部科学省
S. Mutans定着時期に低濃度フッ化物応用をした際の感染の成立と予防効果	尼寺 理恵	小児歯科	390,000	補委	文部科学省
遺伝子医薬開発を目的とした口蓋粘膜創傷治癒における痕痕形成メカニズムの解明	泰江 章博	矯正歯科	780,000	補委	文部科学省
歯周炎におけるTh17細胞の浸潤・活性化機構の解析	細川 義隆	第一補綴科	1,820,000	補委	文部科学省
歯髄炎の病態形成におけるAlarmin放出・産生機構の解明	高橋 加奈子	第一保存科	2,730,000	補委	文部科学省
咬合の客観的評価法の開発	山本 修史	口腔外科	1,300,000	補委	文部科学省
難治性筋疾患制圧を目指したRNA干渉を用いた筋機能回復機構の解明	川合 暢彦	矯正歯科	2,340,000	補委	文部科学省
ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死の発症予測マーカーの検索	美原 智恵	第二保存科	2,470,000	補委	文部科学省
金属アレルギーの発症機序の解析と補綴治療学的戦略	市川 哲雄	第一補綴科	5,200,000	補委	文部科学省
咀嚼が海馬歯状回のニッチェに与える影響とそのメカニズムについて	三留 雅人	小児歯科	5,980,000	補委	文部科学省
総義歯の咬合様式選択のためのガイドラインの構築	永尾 寛	第一補綴科	650,000	補委	文部科学省
根面齶蝕の病態・病因の解析に基づく新しい診断法と治療法の開発	松尾 敬志	第一保存科	1,040,000	補委	文部科学省
プラズマイオン注入・成膜法によるアクリルレジン床の表面改質に関する研究	有田 憲司	小児歯科	1,170,000	補委	文部科学省
腫瘍壊死因子とアクアポリン5を分子標的としたシェーグレン症候群の新規治療法の開発	茂木 勝美	口腔内科	1,300,000	補委	文部科学省
NF-κB依存型分子プロファイリングによる口腔癌特異的バイオマーカーの探索	東 雅之	口腔内科	910,000	補委	文部科学省
次世代型人工骨としてのインテリジェントマテリアルの開発と発展	湯浅 哲也	口腔外科	1,300,000	補委	文部科学省
難治性根尖性歯周炎と根尖孔外バイオフィームに対する電磁・高周波の歯内療法への応用	湯本 浩通	第一保存科	1,170,000	補委	文部科学省

微量元素分析による金属アレルギー診断法の開発	細木 真紀	第二補綴科	910,000	補委	文部科学省
歯の発生過程における上皮-間葉相互作用の分子メカニズムを応用した歯再生医療の開発	永井 宏和	口腔外科	1,430,000	補委	文部科学省
TGF- β /Smad3シグナル経路を介した創傷治癒における瘢痕形成抑制法の検討	田中 栄二	矯正歯科	650,000	補委	文部科学省
マイクロデバイスを用いたカルプロテクチン測定による歯周病診断法の開発	木戸 淳一	第二保存科	910,000	補委	文部科学省
睡眠中の下顎の動態	重本 修伺	第二補綴科	2,080,000	補委	文部科学省
麻酔薬の末梢神経再生への関与について	富岡 重正	歯科麻酔科	2,470,000	補委	文部科学省
乳歯歯髄幹細胞による延髄孤束核の再生について	三留 雅人	小児歯科	1,300,000	補委	文部科学省
人工多能性幹(iPS)細胞の間葉系幹細胞を経由した骨芽細胞への分化誘導法の確立	宮本 洋二	口腔外科	1,600,000	補委	文部科学省
顎機能制御系はあるか、記憶・認知・全身機能との関係はあるか、fMRIを用いた証明	市川 哲雄	第一補綴科	500,000	補委	文部科学省
咀嚼運動時における顎関節空隙の診査方法の確立	薩摩 登善子	第二補綴科	1,170,000	補委	文部科学省
姿勢センサを用いた歯科検査・治療支援機器(デンタルナビゲータ)の開発	石田 雄一	第一補綴科	650,000	補委	文部科学省
心房細動における左室拡張能の非侵襲的評価法の確立	楠瀬 賢也	循環器内科	2,210,000	補委	文部科学省
OCNファミリー分子を標的とした肺線維症の病態解析と新規治療法への展開	東 桃代	呼吸器・膠原病内科	1,950,000	補委	文部科学省
TGF- β 受容体阻害薬による新規骨髄腫骨病変治療法の開発	竹内 恭子	血液内科	2,080,000	補委	文部科学省
肝癌に対する肝移植後の再発・転移機構の解明とその制御に関する研究	居村 暁	消化器・移植外科	1,300,000	補委	文部科学省
ラット胎仔肺組織移植モデルを応用した移植片の再構築・融合機能	監崎 孝一郎	呼吸器外科	1,820,000	補委	文部科学省
脱細胞化心臓弁とValve in Valve低侵襲移植法の開発研究	元木 達夫	心臓血管外科	1,560,000	補委	文部科学省
非侵襲的陽圧換気療法中の加温と口腔内乾燥度の検討	大藤 純	救急集中治療部	520,000	補委	文部科学省
金属アレルギー発症機構における樹状細胞の動態解析	渡邊 恵	第一補綴科	1,170,000	補委	文部科学省
圧電効果を利用した初期固定促進型即時荷重インプラントの開発	内藤 禎人	第一補綴科	1,170,000	補委	文部科学省
リン酸カルシウムコーティング生体吸収型ファイバーの研究と開発	高野 栄之	口腔内科	1,820,000	補委	文部科学省
新規血管新生因子MSFを標的としたsiRNAと抗癌剤を併用した口腔癌治療法の開発	大江 剛	口腔外科	1,690,000	補委	文部科学省
survivinとNF- κ Bを分子標的とする口腔癌の複合的治療法の開発	高丸 菜都美	口腔外科	1,820,000	補委	文部科学省

マイオスタチン特異的RNAiを用いた骨格筋量制御法の開発に関する研究	木内 奈央	矯正歯科	1,040,000	補委	文部科学省
口腔ケアによる肺癌患者の好中球減少発熱エピソードの予防的有用性	横山 正明	口腔管理センター	1,820,000	補委	文部科学省
小児の腹膜硬化症におけるインテグリンの役割の解明	須賀 健一	小児科	2,340,000	補委	文部科学省
脂肪由来幹細胞を用いた新たな膵島再生法の開発	森 大樹	消化器・移植外科	2,080,000	補委	文部科学省
肺癌術前患者に対する細径気管支鏡下水溶性造影剤注入によるCTリンパ管造影法の開発	滝沢 宏光	呼吸器外科	2,470,000	補委	文部科学省
脳動脈瘤形成時におけるTGF- β の役割の解明と、新しい脳動脈瘤治療法の開発	兼松 康久	脳神経外科	2,210,000	補委	文部科学省
糖鎖が吸入麻酔薬による心保護作用に及ぼす影響	廣瀬 佳代	麻酔科	2,080,000	補委	文部科学省
花粉症に対する初期療法の分子メカニズムの解明	北村 嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,860,000	補委	文部科学省
肝管癌細胞に対するヒストン脱アセチル化阻害による抗癌剤感受性増強に関する研究	岩橋 衆一	消化器・移植外科	1,560,000	補委	文部科学省
歯周組織におけるkeap1-Nrf2システムを中心としたレドックス制御の解明	板東 美香	第二保存科	1,820,000	補委	文部科学省
気管支喘息の慢性気導炎症の病態解明とその制御	吾妻 雅彦	呼吸器・膠原病内科	1,560,000	補委	文部科学省
ジストニアにおける淡蒼球内節機能分画異常の解析	後藤 恵	脳神経外科	1,300,000	補委	文部科学省
脂質ラフト構造を標的とした多発性骨髄腫の新規治療法の開発	尾崎 修治	輸血部	1,300,000	補委	文部科学省
長管骨長径成長における新たな制御機序の解明	高田 信二郎	リハビリテーション部	910,000	補委	文部科学省
再生医療における血管新生は麻酔薬及び周術期管理法に影響されるのか？	川人 伸次	麻酔科	650,000	補委	文部科学省
癌増殖、浸潤、転移におけるActinin4系の分子機構について	中遠 弘能	泌尿器科	910,000	補委	文部科学省
歯髄保存療法への緑茶カテキン応用に関する研究	中西 正	第一保存科	1,170,000	補委	文部科学省
エリスリトールを用いた新しく安全な義歯洗浄剤の開発	柏原 稔也	第一補綴科	650,000	補委	文部科学省
ペリオスチンの機能解析—骨芽細胞及び歯根膜線維芽細胞における抗アポトーシス作用—	藤原 慎視	矯正歯科	650,000	補委	文部科学省
糖尿病性血管合併症における血中Smad1の測定系構築と有効性の評価	近藤 直樹	腎臓内科	780,000	補委	文部科学省
血管新生阻害によって惹起される放射線感受性増強のメカニズムに関する研究	西岡 将規	周産母子センター	910,000	補委	文部科学省
脳動脈瘤形成・増大におけるスタチンの二面性作用	里見 淳一郎	脳神経外科	2,340,000	補委	文部科学省

肘離断性骨軟骨炎は小頭栄養血管の血流障害により生じるのか？	松浦 哲也	整形外科	780,000	補委	文部科学省
放射線療法を受けた顎骨組織のインプラント補綴による力学的反応	友竹 偉則	第一補綴科	1,040,000	補委	文部科学省
抗アポトーシス蛋白とNF- κ Bを分子標的とした口腔癌の新規治療法の開発	玉谷 哲也	口腔外科	910,000	補委	文部科学省
歯科治療によるストレス侵襲に対する精神鎮静法の心血管系保護作用	江口 覚	歯科麻酔科	1,170,000	補委	文部科学省
日本人歯周病患者を対象とした抗菌ペプチド遺伝子の多型解析と疾患感受性の検討	稲垣 裕司	第二保存科	1,560,000	補委	文部科学省
慢性心不全における下肢陽圧負荷心エコー法の臨床的有用性の確立	山田 博胤	循環器内科	1,950,000	補委	文部科学省
肺高血圧症におけるカリウムチャネル制御の解明と治療応用	早瀬 康信	小児科	2,080,000	補委	文部科学省
人工股関節術後に生じる骨盤側骨萎縮に対するCTを用いた研究	江川 洋史	整形外科	3,510,000	補委	文部科学省
バクテリアルトランスロケーション下のタイトジャンクション生涯治療への展開	栗田 信浩	地域外科診療部	1,690,000	補委	文部科学省
脂肪組織由来幹細胞による肝再生調節機構の解明に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科	2,210,000	補委	文部科学省
抗菌成分添加フッ化ジアミンシリケートを利用した齲蝕予防剤の開発	菅 俊行	第一保存科	2,080,000	補委	文部科学省
医科歯科連携のための顎関節症外来受診患者調査	竹内 久裕	第二補綴科	650,000	補委	文部科学省
骨置換性炭酸アパタイトの既成スパーサーを用いた骨移植を必要としないサイノスリフト	藤澤 健司	口腔外科	2,470,000	補委	文部科学省
リン酸カルシウム置換型機能性ベクトルマテリアルに対する細胞応答の検討	堀内 伸也	矯正歯科	2,340,000	補委	文部科学省
新規歯科用局所麻酔薬の開発と無針注射器(シリジェット)への応用について	中川 弘	小児歯科	3,770,000	補委	文部科学省
糖尿病関連歯周炎の病態指標としての歯肉溝滲出液中オステオポンチンの意義と有用性	堀部 ますみ	第二保存科	2,730,000	補委	文部科学省
口腔顔面痛と自律神経活動の関係について一心拍間変異分析装置を用いて	桃田 幸弘	口腔内科	3,510,000	補委	文部科学省
細胞支持基盤の弾性調節で飽和脂肪酸によるインスリン抵抗性を克服する試み	李 勤凱	糖尿病対策センター	2,080,000	補委	文部科学省
細胞支持基盤の弾性調節による初代培養脂肪・肝臓・骨格筋細胞の長期間機能保持の試み	船木 真理	糖尿病対策センター	1,500,000	補委	文部科学省
成長軟骨板の分子制御メカニズムの解明	江西 哲也	整形外科	1,100,000	補委	文部科学省
過敏性腸症候群の診断と最適治療のための非侵襲的大腸小腸運動機能評価システムの開発	岡久 稔也	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
Epigenetic修飾の包括的・統合的解析による新規癌幹細胞制御法の確立	宇都宮 徹	がん診療連携センター	1,800,000	補委	文部科学省

多発性嚢胞腎の新たな発症機序の解明～腎近位尿管のPTENとEGF受容体の役割～	長井 幸二郎	検査部	1,235,000	補 委	文部科学省
ミュータンス連鎖球菌の糖輸送関連遺伝子がバイオフィルム形成に与える影響について	木村 智子	総合歯科診療部	1,560,000	補 委	文部科学省
新規アディポカインD-ドーパクロムトートメラーゼの発現および作用機序に関する研究	石本 恭子	矯正歯科	1,560,000	補 委	文部科学省
慢性筋萎縮疾患制圧を目的としたRNA干渉法を利用した咀嚼筋量制御法の開発研究	川上 恵実	矯正歯科	1,560,000	補 委	文部科学省
レジスチンは歯周炎の新規モジュレーターか	村田 裕美	第2保存科	1,560,000	補 委	文部科学省
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	大森 哲郎	精神科神経科	13,000,000	補 委	厚生労働省
縦断的・包括的脊髄損傷の治療効果の評価およびそれに必要な医療資源に関する研究	加藤 真介	整形外科	5,240,000	補 委	厚生労働省
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	島田 光生	消化器・移植外科	500,000	補 委	厚生労働省
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	島田 光生	消化器・移植外科	400,000	補 委	厚生労働省
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重検群間比較試験	荻原 稔	産科婦人科	1,000,000	補 委	厚生労働省
生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	荻原 稔	産科婦人科	2,500,000	補 委	厚生労働省
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	梶 龍兒	神経内科	800,000	補 委	厚生労働省
がん化学予防剤の研究開発とその臨床応用に関する研究	高山 哲治	消化器内科	3,000,000	補 委	厚生労働省
統合失調症における社会生活機能障害の評価・支援 -MATRICS-CCB 日本語版による認知機能障害の評価と治療計画への応用-	大森 哲郎	精神科神経科	1,500,000	補 委	厚生労働省
高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究	永廣 信治	脳神経外科	1,500,000	補 委	厚生労働省
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討、ならびに我が国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	永廣 信治	脳神経外科	700,000	補 委	厚生労働省
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	曾根 三郎	呼吸器・膠原病内科	1,400,000	補 委	厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	島田 光生	消化器・移植外科	200,000	補 委	厚生労働省
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	安部 秀斉	腎臓内科	500,000	補 委	厚生労働省
びまん性肺疾患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	1,000,000	補 委	厚生労働省
日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	佐田 政隆	循環器内科	3,000,000	補 委	厚生労働省

前庭機能異常に関する調査研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,700,000	補委	厚生労働省
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の他施設検討	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補委	厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	大森 哲郎	精神科神経科	600,000	補委	厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	37,200,000	補委	国立保健医療科学院
軟骨無形成症の病態解明と治療法の開発	安井 夏生	整形外科	15,000,000	補委	国立保健医療科学院
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	梶 龍児	神経内科	600,000	補委	国立保健医療科学院
神経変性疾患に関する調査研究	梶 龍児	神経内科	1,200,000	補委	国立保健医療科学院
免疫性神経疾患に関する調査研究	梶 龍児	神経内科	1,200,000	補委	国立保健医療科学院
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	600,000	補委	国立保健医療科学院
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線科	1,000,000	補委	国立保健医療科学院
前庭機能異常に関する調査研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,700,000	補委	国立保健医療科学院
封入体筋炎(IBM)の臨床病理学的調査および診断基準の精度向上に関する研究	梶 龍児	神経内科	1,200,000	補委	国立保健医療科学院
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	菅原 稔	産科婦人科	2,000,000	補委	国立保健医療科学院
低フォスフォターゼ症の個別最適治療に向けた基礎的・臨床的検討	安井 夏生	整形外科	1,500,000	補委	国立保健医療科学院
突発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委	国立保健医療科学院
原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	中西 秀樹	形成外科・美容外科	1,000,000	補委	国立保健医療科学院
原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	橋本 一郎	形成外科・美容外科	500,000	補委	国立保健医療科学院
治験の実施に関する研究[L-アラギニン]	浅沼光太郎	神経内科	1,000,000	補委	(社)日本医師会治験促進センター
ヒト用絹人工血管の動物実験による評価	佐田 政隆	循環器内科	17,000,000	補委	(独)農業・食品産業技術総合研究機構
糖尿病と糖尿病大血管合併症の新規治療法の開発	佐田 政隆	循環器内科	16,794,000	補委	(財)とくしま産業推進機構
心腎貧血連関における心血管イベント予測新規バイオマーカー血中Smad1の解析～慢性腎臓病の血管合併症の病態評価～	安部 秀斉	腎臓内科	1,000,000	補委	(財)日本腎臓財団若手研究者助成金
ヘプシジン産生亢進による糸球体硬化進展の分子機構の解明	安部 秀斉	腎臓内科	500,000	補委	(財)日本腎臓財団腎不全病態研究助成金

統合失調症のシナプスグリア系病態の評価・修復法創出	大森 哲郎	精神科神経科	10,600,000	補 委	(独)科学技術振興機構
口腔内歯科修復物の微量分析法の確率と金属アレルギー発症機序の検討	細木真紀	第二補綴科	500,000	補 委	文部科学省特別教育研究経費
6自由度顎運動データに基づいた咬合の機能的評価法の開発	西川啓介	第二補綴科	500,000	補 委	文部科学省特別教育研究経費
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	大森 哲郎	精神科神経科	850,000	補 委	厚生労働省精神・神経疾患研究委託事業
LEDによるライフ・イノベーションプロジェクト革新的特色研究、鼻過敏症効果	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	500,000	補 委	学長裁量経費
オリゴ糖の亜鉛吸収促進作用を利用した味覚障害の治療法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
花粉症に対する初期療法の分子メカニズムの解明	北村 嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,200,000	補 委	日本学術振興会

計182

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Plos One	Activation of Src Mediates PDGF-induced Smad1 Phosphorylation and Contributes to the Progression of Glomerulosclerosis in Glomerulonephritis	美馬晶	腎臓内科学
The Journal of Clinical Investigation	Overexpression of Smad1 exacerbates a mouse model of Diabetic nephropathy through bone morphogenetic protein 4	安部秀斉	腎臓内科学
Molecules and Cells	TCF7L2 (Transcription factor 7-like 2) Regulates Activin Receptor-Like Kinase 1 (ALK1)/Smad1 Pathway for Development of Diabetic Nephropathy	荒岡利和	腎臓内科学
American Journal of Nephrology	TROPHOBLAST GLYCOPROTEIN:POSSIBLE CANDIDATE MEDIATING PODOCYTE INJURIES IN GLOMERULONEPHRITIS	村上太一	腎臓内科学
J Med Invest.	Crucial role of renin-angiotensin system in the pathogenesis of atherosclerosis.	Sata M	循環器内科
J Atheroscler Thromb.	Ezetimibe ameliorates metabolic disorder and microalbuminuria in patients with hypercholesterolemia.	Yagi S	循環器内科
Hypertension.	eNOS-independent Protective Action of Statin Against Angiotensin II-induced Atrial Remodeling via Reduced Oxidant Injury.	Yagi S	循環器内科
Intern Med.	Congenital ventricular aneurysm as an unexpected complication of monomorphic premature ventricular contractions.	Yagi S	循環器内科
J Cardiovasc Pharmacol Ther.	Effects of Additional Administration of Low-Dose Indapamide on Patients With Hypertension Treated With Angiotensin II Receptor Blocker.	Yamada H	循環器内科
Circ J.	Cardiac Magnetic Resonance Imaging and 2D Speckle Tracking Echocardiography in Secondary Cardiac Amyloidosis.	Kusunose K	循環器内科
Heart Asia	Diagnostic utility of cardiac magnetic resonance for detection of cardiac involvement in female carriers of Duchenne muscular dystrophy.	Iwase T	循環器内科
Intern Med.	Bosentan ameliorated exercise-induced pulmonary arterial hypertension complicated with systemic sclerosis.	Yagi S	循環器内科
J Echocardiogr	Diastology 2010: clinical approach to diastolic heart failure	Yamada H	循環器内科
Medical Tribune	エゼチミブの多面的な作用	佐田政隆	循環器内科

心臓	ブラク破綻の分子機構	佐田政隆	循環器内科
Medical Practice	狭心症の薬物療法 スタチンに関する最近の話題-Strong statinとvascular statinをどのように選択するのか？-	山口浩司	循環器内科
Japan Medicine MONTHLY	特集 異所性脂肪 待たれる志望入れ替え術の臨床試験	佐田政隆	循環器内科
Hypertens Scope	動脈硬化とRA系	佐田政隆	循環器内科
MEDICAMENT NEWS	血管保護をふまえた脂質異常症の薬物治療	山口浩司	循環器内科
四国医学雑誌	特集:循環器病診療における最新の診かた, 考え方 急性心筋梗塞の初期治療-救命の連鎖-	佐田政隆	循環器内科
四国医学雑誌	特集:循環器病診療における最新の診かた, 考え方 心房細動と塞栓症-何時, どのような治療を始めるか?-	山田博胤	循環器内科
四国医学雑誌	冠動脈疾患の病態解明と新しい診断治療技術の開発	佐田政隆	循環器内科
British journal of cancer	Enhancement of osteoclastogenic activity in osteolytic prostate cancer cells by physical contact with osteoblasts	Shirevnyamba Avirmed	泌尿器科
Pediatr Cardiol	Coronary arteriovenous fistula: direct connection of the proximal circumflex artery to the coronary sinus.	Hayabuchi Y	小児科
Int J Cardiol	Assessment of systemic-pulmonary collateral arteries in children with cyanotic congenital heart disease using multidetector-row computed tomography:Comparison with conventional angiography.	Hayabuchi Y	小児科
Pediatr Nephrol	A case of dense deposit disease associated with a group A streptococcal infection without the involvement of C3NeF or complement factor H	Suga K	小児科
Am J Nephrol	Urinary Angiotensinogen Accurately Reflects Intrarenal Renin-Angiotensin System Activity.	Urushihara M	小児科
Am J Physiol Renal Physiol	ERK5 activation enhances mesangial cell viability and collagen matrix accumulation in rat progressive glomerulonephritis.	Urushihara M	小児科
日本小児科学会雑誌	胃腸炎後に発症したlupus anticoagulant hypoprothrombinemia syndromeの2例.	岡村和美	小児科
Neurol Med Chir	Pilomyxoid astrocytoma of the cervical spinal cord successfully treated with chemotherapy: case report.	Watanabe H	小児科
Cardiol Young	Development of systemic-to-pulmonary collateral arteries in a patient with hypoplastic left cardiac syndrome after bilateral pulmonary artery banding.	Hayabuchi Y	小児科
J Echocardiography	Increased mid-left ventricular rotation in patients with Duchennemuscular dystrophy usingtwo-dimensional speckle tracking echocardiography.	Mori K	小児科
Heart Vessels	Assessment of modified Blalock-Taussig shunt in children with congenital heart disease using multidetector-row computed tomography.	Hayabuchi Y	小児科
J Med Invest	Function of the frontal lobe in autistic individuals: a proton magnetic resonance spectroscopic study.	Mori K	小児科
Hypertens Res	Glomerular angiotensinogen is induced in mesangial cells in diabetic rats via reactive oxygen species - ERK/JNK pathways.	Urushihara M	小児科
J Hypertens	Urinary Angiotensinogen is Correlated with Blood Pressure in Men (Bogalusa Heart Study).	Urushihara M	小児科
Am J Hypertension	Adipose Tissue-Specific Regulation of Angiotensinogen in Obese Human and Mice: Impact of Nutritional Status and Adipocyte Hypertrophy.	Urushihara M	小児科
Neuromolecular Med	Association study between the pericentrin (PCNT) gene and schizophrenia.	Numata S	精神科神経科
Neurosci Lett	Gene expression and association analysis of the epithelial membrane protein 1 gene in major depressive disorder in the Japanese population	Nakataki M	精神科神経科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry.	Quality of life and cognitive dysfunction in people with schizophrenia.	Ueoka Y	精神科神経科
J Gastroenterol	CD133 expression in a potential prognostic indicator in intrahepatic cholangiocarcinoma.	島田 光生	消化器・移植外科
Cytokine	Serum evaluation of soluble interferon-alpha/beta receptor and high-sensitivity C-reactive protein for diagnosis of the patients with gastrointestinal and hepatobiliary-pancreatic cancer.	三宅 講太郎	消化器・移植外科

Hepatol Res	Impact of splenectomy in patients with liver cirrhosis: Results from 18 patients in a single center experience.	居村 暁	消化器・移植外科
J Gastroenterol	Molecular signatures of noncancerous liver tissue can predict the risk for late recurrence of hepatocellular carcinoma.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
Surgery	Dual hepatic artery reconstruction in living donor liver transplantation using a left hepatic graft with 2 hepatic arterial stumps.	内山 秀昭	消化器・移植外科
Pancreas	New stepwise cooling system for short-term porcine islet preservation.	池本 哲也	消化器・移植外科
Cell Transplantation	Assessment of Islet Quality Following International Shipping of more than 10,000 Km.	池本 哲也	消化器・移植外科
Int J Clin Oncol	Expression of hypoxia-inducible factor-1 alpha (HIF-1alpha) in patients with the gallbladder carcinoma.	Batmunkh E	消化器・移植外科
Transpl Int.	Living donor liver transplantation using a left hepatic graft from a donor with a history of gastric cancer operation.	内山 秀昭	消化器・移植外科
Hepatogastroenterology	Predictive Factors of Peritoneal Metastasis in Gastric Cancer.	栗田 信浩	消化器・移植外科
Asian J Endosc Surg	A rare case of inguinal bladder hernia in a child.	久山 寿子	消化器・移植外科
日本肝胆膵外科学会高度技能医制度委員会編 医学書院	II 基本手技 3.肝臓ハンギング法、肝臓転 肝臓高難度外科手術	宇都宮 徹	消化器・移植外科
肝臓内視鏡外科研究会編 南山堂	腹腔鏡下肝切除術 4.術中・術後のトラブルと回避法 ガス塞栓.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
がん治療最前線	臓器部位別の治療戦略 肝がん手術とインターベンション, PEIT, RFA, TAEなど.	森根 裕二	消化器・移植外科
臨床と研究	血液型不適合肝移植後interferon治療に難渋したC型肝炎の1例.	花岡 潤	消化器・移植外科
臨床と研究	急性肝不全に対する肝移植術施行のタイミングに難渋した症例.	森 大樹	消化器・移植外科
臨床と研究	問題を有するドナーからの生体肝移植 ～胃癌術後ドナーおよび喘息罹患ドナー～.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
臨床と研究	乳癌が併存するレシピエント、高度脂肪肝ドナーという組み合わせに施行した生体肝移植.	池本 哲也	消化器・移植外科
日本消化器外科学会雑誌	胆嚢動脈による偽性総肝管狭窄の1例.	荒川 悠佑	消化器・移植外科
日本臨床	肝・胆道系症候群(II)ーその他の肝・胆道系疾患を含めてー肝臓編(下)第2版 XIV 肝細胞癌以外の肝腫瘍「原発性肝肉腫(Primary hepatic sarcoma)」	宇都宮 徹	消化器・移植外科
四国医学雑誌	ステロイド長期投与患者における周術期ステロイドカバー.	浅野間 理仁	消化器・移植外科
外科治療	術後障害に対する漢方治療.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
消化器外科	腹腔鏡下肝切除:腹腔鏡下肝切除術における最近の話題 ～気腹とガス塞栓～.	居村 暁	消化器・移植外科
G.I.Research	肝・胆・膵手術と漢方.	森 大樹	消化器・移植外科
G.I.Research	メタボリックシンドロームと肝細胞癌.	花岡 潤	消化器・移植外科
肝胆膵	性差による肝胆膵疾患の臨床、病態、治療効果のDiscrepancy I.性差と各種肝疾患 7)肝移植と性差.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
臨床雑誌「外科」	特集/必読 最新の肝切除ーその2 2.Liver hanging maneuver.	森根 裕二	消化器・移植外科
肝胆膵画像	肝移植の画像診断ー生体ドナーの安全とレシピエントの予後向上をめざしてー 7. 肝移植後の血栓、血管狭窄の診断と治療.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
胆と膵	全国集計からみた先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常の胆道癌発生率とその特徴.	森根 裕二	消化器・移植外科
肝胆膵	薬物治療学の進歩ーこの30年ー、IX. 肝移植 1)ネオール(ノバルティス).	宇都宮 徹	消化器・移植外科
Surgery Frontier.	特集/消化器外科データベースの構築とその展開4. 高度技能医制度を包括するデータベース.	宇都宮 徹	消化器・移植外科

上原記念生命科学財団研究報告集	脂肪肝グラフトを用いた肝移植における移植後グラフト機能不全の機序解明.	島田 光生	消化器・移植外科
腹腔鏡下大腸手術の基本手術手技	S上結腸SM癌に対するS状結腸切除 D2郭清.	西岡 将規	消化器・移植外科
標準外科学	人工臓器.	岩田 貴	消化器・移植外科
日本大腸肛門病学会雑誌.	Bevasizumab併用化学療法中に緊急手術をした2例.	吉川 幸造	消化器・移植外科
手術	手術機器の使い方-基本と応用- 鏡視下手術用機器 5.リトラクター.	岩田 貴	消化器・移植外科
臨床消化器内科	肝癌ステージングと予後推定.	森本 慎也	消化器・移植外科
外科	I.消化管 20. 肛門癌.	宮谷 知彦	消化器・移植外科
癌の臨床	【特集】大腸がん鏡視下手術の標準化 大腸がんに対する鏡視下手術の標準化と普及における問題点と対策-地方からの提言-.	岩田 貴	消化器・移植外科
小児外科	膀胱滑脱を伴う鼠径ヘルニアはどうする？	久山 寿子	消化器・移植外科
小児外科	高位鎖肛術後成人期の生殖機能障害.	高原 裕夫	消化器・移植外科
小児外科	短食道に対する腹腔鏡下噴門形成術 どこで開腹移行？	石橋 広樹	消化器・移植外科
Annals of Surgical Oncology	Sentinel lymph node biopsy using intraoperative indocyanine green fluorescence imaging navigated with preoperative CT lymphography for superficial esophageal cancer.	Yasuhiro Yuasa	食道・乳腺甲状腺外科
Skeletal Radiol	Hematoma in the cervical ligamentum flavum. Report of a case and review of the literature.	Tamura T	整形外科
Skeletal Radiol	Diffuse arachnoid ossification and multiple arachnoid cysts presenting with progressive thoracic myelopathy.	Sakai T	整形外科
Spine(Phila Pa 1976)	Significance of magnetic resonance imaging signal change in the pedicle in the management of pediatric lumbar spondylolysis.	Sakai T	整形外科
Anticancer Res	Specificity of Fusion Genes in Adipocytic Tumors.	Kubo T	整形外科
Ann Rheum Dis	Association study of TRAF1-C5 polymorphisms with susceptibility to rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus in Japanese.	Nishimoto K	整形外科
Am J Sport Med	The Value of Using Radiographic Criteria for the Treatment of Persistent Symptomatic Olecranon Physis in Adolescent Throwing Athletes.	Matsuura T	整形外科
J Med Invest	Radiographic comparison between male and female patients with lumbar spondylolysis.	Takao S	整形外科
Tissue Cell	Differential expression of Tenomodulin and Chondromodulin-1 at the insertion site of the tendon reflects a phenotypic transition of the resident cells.	Yukata K	整形外科
J Orthop Sci	Fragmental bone transport in conjunction with acute shortening followed by gradual lengthening for a failed infected nonunion of the tibia.	Takahashi M	整形外科
J Orthop Sci	Incidence and etiology of lumbar spondylolysis: review of the literature.	Sakai T	整形外科
J Orthop Trauma	Nonunion of capital femoral physeal fracture with a large metaphyseal fragment.	Yukata K	整形外科
Anticancer Res	Myxoid liposarcoma with EWS-CHOP type 1 fusion gene.	Suzuki K	整形外科
Minim Invasive Neurosurg	Complications of endoscopic lumbar decompression surgery.	Saiyo K	整形外科
J Orthop Traumatol	Osseous erosion by herniated nucleus pulposus mimicking intraspinal tumor: a case report.	Yoshioka S	整形外科
J Orthop Traumatol	Adolescents with symptomatic laminolysis: report of two cases.	Sakai T	整形外科
J Bone Joint Surg Br	Spondylolysis originates in the ventral aspect of the pars interarticularis: a clinical and biomechanical study.	Terai T	整形外科

J Orthop Traumatol	Congenital absence of lumbosacral articular facet joint associated with conjoined nerve root: a case report.	Yoshioka S	整形外科
Minim Invasive Neurosurg	Minimally invasive endoscopic bilateral decompression with a unilateral approach (endo-BIDUA) for elderly patients with lumbar spinal canal stenosis.	Wada K	整形外科
J Med Invest	Early ambulation after total knee arthroplasty prevents patients with osteoarthritis and rheumatoid arthritis from developing postoperative higher levels of D-dimer.	Nakao S	整形外科
J Med Invest	Relationship between Barthel Index scores during the acute phase of rehabilitation and subsequent ADL in stroke patients.	Nakao S	整形外科
J Pediatr Orthop B	Significance of surgical treatment for severe dystrophic changes in the cervical spine associated with neurofibromatosis type I: a case report.	Inoue M	整形外科
Am J Sports Med	Causes of radiculopathy in young athletes with spondylolysis.	Saiyo K	整形外科
Auris Nasus Larynx	Effects of zinc supplementation on serum zinc concentration and ratio of apo/holo-activities of angiotensin converting enzyme in patients with taste impairment.	武田憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Meth. Find. Exp. Clin. Pharmacol	Pre-seasonal prophylactic treatment with antihistamines suppresses histamine H1 receptor mRNA expression in the nasal mucosa of patients with pollinosis.	北村嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Auris Nasus Larynx	A case of apogeotropic nystagmus with brainstem lesion: an implication of central apogeotropic nystagmus.	武田憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
日本鼻科学会誌	徳島県における過去26年間のヒノキ科花粉の飛散状況	北村嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
耳鼻臨床	Mohs軟膏によりQOLを改善した下咽頭癌の手術不能頸部リンパ節転移例	武田憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
小児耳鼻	吃音児への早期介入の現状と課題	千田いづみ	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Equilibrium Res	咀嚼によりめまいが誘発されたCosten症候群症例	武田憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Cerebrovascular diseases	Incidence and Clinical Correlation of Intracranial Hemorrhages Observed by 3-Tesla Gradient Echo T2*-Weighted Images following Intravenous Thrombolysis with Recombinant Tissue Plasminogen Activator	Masafumi Harada	放射線科
JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING	Dynamic Susceptibility Contrast Perfusion Weighted Imaging in Grading of Nonenhancing Astrocytomas	Naomi Morita	放射線科
Journal of computer assisted tomography	Diffusion-weighted MR imaging of ovarian tumors: Differentiation of benign and malignant solid components of ovarian masses	Mayumi Takeuchi	放射線科
International Journal of Radiation Oncology Biology Physics.	Daily alignment results of in-room computed tomography-guided stereotactic body radiation therapy for lung cancer	Hitoshi Ikushima	放射線科
Japan Radiological Society	Selection of endogenous ¹³ C substrates for observation of intracellular metabolism using the dynamic nuclear polarization technique	Masafumi Harada	放射線科
EUROPEAN RADIOLOGY	Differentiation of benign and malignant uterine corpus tumors by using proton MR spectroscopy at 3T: preliminary study	Takeuchi M	放射線科
JOURNAL OF AUTISM AND DEVELOPMENTAL DISORDERS	Non-invasive evaluation of the GABAergic/glutamatergic system in autistic patients observed by MEGA-editing proton MR spectroscopy using a clinical 3 tesla instrument	Masafumi Harada	放射線科
Human Brain Mapping	Measurement of variation in the human cerebral GABA level by in vivo MEGA-editing proton MR spectroscopy using a clinical 3 T instrument and its dependence on brain region and the female menstrual cycle	Harada M	放射線科
TDM研究	脳低温時におけるミダゾラムの適正投与に向けて	下岡幸恵	薬剤部
Hypertension Research	Effect of angiotensin II on iron-transporting protein expression and subsequent intracellular labile iron concentration in human glomerular endothelial cells	田島壮一郎	薬剤部
Biochimica et biophysica acta	Effects of exposure to a time-varying 1.5 T magnetic field on the neurotransmitter-activated increase in intracellular Ca ²⁺ in relation to actin fiber and mitochondrial functions in bovine adrenal chromaffin cells	西迫寛隆	薬剤部

Nephrology, Dialysis, Transplantation	Angiotensin II receptor blocker attenuates PDGF-induced mesangial cell migration in a receptor-independent manner	水口和生	薬剤部
日本腎臓学会誌	片腎の高齢者腎機能障害患者において超音波検査で腎動脈狭窄症を指摘され、経皮的腎血管拡張術で高血圧、腎機能の著明な改善が見られた1例	長井幸二郎	検査部
J Med Case Reports	Chest computed tomography of a patient revealing severe hypoxia due to amniotic fluid embolism: a case report.	Imanaka H	救急集中治療部
Anaesth Intensive Care	Effects of open lung approach policy on mechanical ventilation duration in postoperative patients with chronic thromboembolism with pulmonary hypertension: a case-matched study.	Imanaka H	救急集中治療部
Med Sci Monit	Humidification during high-frequency oscillatory ventilation for adults: A bench study.	Chikata Y	救急集中治療部
J Crit Care	Clinical factors affecting inspired gas humidification and oral dryness during noninvasive ventilation.	Oto J	救急集中治療部
ブレインナーシング	脳神経疾患とバイタルサイン。	大藤 純	救急集中治療部
麻酔	論説 新型インフルエンザの流行から学んだこと。	西村 匡司	救急集中治療部
人工呼吸器関連肺炎のすべて	気管チューブ。	中瀧 恵実子	救急集中治療部
日集中医誌	集中治療における非侵襲的心拍出量モニタ。	今中 秀光	救急集中治療部
ICUとCCU	日本におけるICU収容患者の検討: 海外との比較を中心に。	西村 匡司	救急集中治療部
Journal of Prosthodontic Research	A new method to prevent the corrosion of dental materials, during disinfection using functional water: Sacrificial protection	柏原稔也 他	歯科
日本口腔インプラント学会誌	姿勢検出センサを用いたインプラント埋入ナビゲーションシステムの開発	石田雄一 他	歯科
日本磁気歯科学会雑誌	磁石固定式上部構造におけるインプラント支持歯槽骨の光弾性応力解析	友竹偉則 他	歯科
四国歯学会雑誌	睡眠時6自由度顎運動測定システムの開発と応用	野口直人	第二補綴科
日本補綴歯科学会誌	側方ガイド傾斜角についての定量的検討	竹内久裕	第二補綴科
四国歯学会雑誌	審美歯科をしてみませんか?! 一ちょっとした工夫からジルコニアフレームまで	細木真紀	第二補綴科

計140

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 安井 夏生			
管理担当者氏名	・総務課長	佐藤 宏通	・医療支援課長	佐々木 幹人
	・手術部長	丹黒 章	・薬剤部長	水口 和生
	・看護部長	木田 菊恵	・放射線部長	原田 雅史
	・医事企画課長	高橋 貞夫	・副診療支援部長	高松 典通

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科（部）で保管	各診療科（部）で保管している。（なお、カルテについては、一部電子カルテシステム、診療録管理室にて管理しているものもある。）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事企画課	
	高度の医療の研修の実績	総務課，医事企画課	
	閲覧実績	総務課，医事企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事企画課，薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	文書ファイルで保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課	

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療支援課	文書ファイルで保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課, 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課, 薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 佐伯 隆二
閲覧担当者氏名	総務課長 佐藤 宏通
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	82.1 %	算定期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
算出根拠	A:紹介患者の数		16,015 人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,744 人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		254 人
	D:初診の患者の数		22,397 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 用語の定義(2) 安全管理に関する基本的考え方(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 19 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（月 1 回，臨時 7 回）</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。(2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。(3) 医薬品の安全使用に関すること。(4) 医療機器の安全使用に関すること。(5) その他医療上の事故等に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第1回安全管理研修会：「医療安全対策を考える」</p> <p>第2回安全管理研修会学術講演会：「医療事故の経験から伝えたいこと」</p> <p>第3回安全管理研修会・・・「インスリンの安全な取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」</p>	

第4回安全管理研修会学術講演会・「転倒・転落予防について」	
第5回安全管理研修会・「DVTについて」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. シリンジポンプのガンマ設定をする際、緊急性の高い患者を取り扱う部署や繁忙な部署の看護師はその取り扱いに苦慮しているため、リース更新に伴い、設定数値を効率よく設定でき、かつ、上げすぎるとメッセージが発信されるなどの機能追加したシリンジポンプを導入した。 2. 歯科診療部門では、歯科独自でインシデント分析を行っていた非公式な組織があったが、「歯科安全管理部会」として、リスクマネジメント部門の下部へ規則化し、歯科の特有な事例を分析、対策を委員会にて報告することとした。 3. 葉酸代謝拮抗剤アリムタの化学療法の際、葉酸、ビタミン12の処方の有無を確認する欄を設け、医師だけでなく、注射薬処方時に薬剤師によるダブルチェックを行えるように、オーダーシステムの修正を行った。 	(有)・無
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (5名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (5) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1)本院において発生した医療上の事故等の原因究明、調査、分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。 (2)事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。 (3)患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。 (4)医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。 (5)医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。 (6)医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。 (7)インシデント報告の管理に関すること。 (8)リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存、その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。 (9)医療安全に係る連絡調整に関すること。 (10)医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。 (11)医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。 (12)その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 用語の定義(2) 安全管理に関する基本的考え方(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 4 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月 1 回、臨時 2 回）</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 院内感染の予防及び対策に関すること。(2) 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。(3) 院内感染発生時の措置に関すること。(4) 職員の院内感染の教育に関すること。(5) 安全管理対策室感染対策部門の運営に関すること。(6) その他院内感染に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回

- ・ 研修の主な内容：
第1回感染対策研修会・・・「百日咳と飛沫感染対策」
- 第2回感染対策研修会学術講演会・・・「広島大学病院のエイズ診療」
- 第3回感染対策研修会・・・「最近話題の耐性菌と対策」

⑤ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。
2. 毎週、院内の菌血症症例について、菌血症サーベイランスを実施し、原因・診断と抗菌薬の適正使用について検討している。
3. 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSA薬の適正使用について毎週検討している。
4. HIV/エイズ小委員会では、2ヶ月に1回委員会を開催し、院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。
5. 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握をしている。針刺し等事故対策としては、事故者からのヒアリングまたは面接を全ての事例で行い、改善策をフィードバックしている。
6. ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科でのSSIサーベイランスを実施している。
7. 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修（新人、2年目、専門）に分けて計画している。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： 処方上の注意点と薬剤業務、薬剤の安全管理、安全管理における薬剤の取扱い方法、インスリン製剤の安全管理、麻薬の取り扱い方法	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (①・無)・ 業務の主な内容： 各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に伝えている。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 看護師、研修医、コメディカルを対象に「輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、ベッドサイドモニタ」について実施した。 内容は、研修会場に機器を持ち込み実際の事故事例を挙げながらアラームの理解と対処方法を実技形式で開催した。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">計画の策定 (○・無)保守点検の主な内容： 定期保守点検（メーカー指定期間による）、予防メンテナン、機器のオーバーホールを機器販売メーカーへ依頼し、実施した。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無)その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の添付文書、機器製造販売メーカーからの機器情報および厚生労働省医薬食品局の「医薬品・医療機器等安全性情報」配信サービスに登録し、情報収集している。	